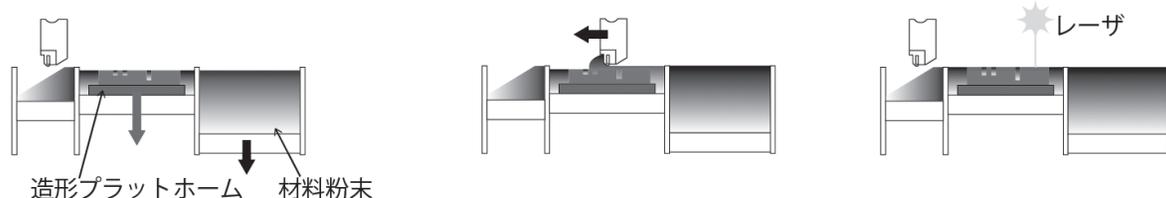


金属3Dプリンタによる造形事例

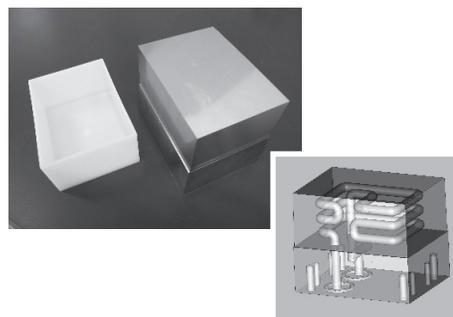
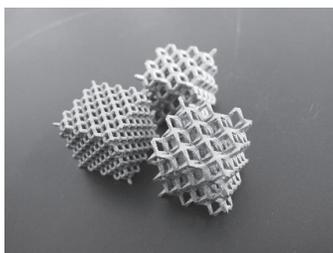
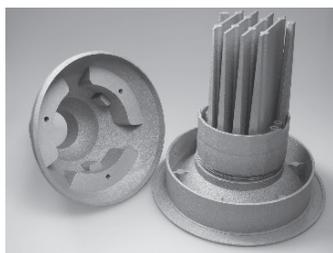
<造形の原理>

- ①ベース部をプラットフォームにセット ②材料粉末をリコーティング ③レーザーを断面形状に沿って照射



最大出力400Wのファイバーレーザーにより選択的に金属粉末を溶融・凝固させ、形成される断面を積み上げることによって、三次元データからモールドレスで迅速に金属部材を作り出すことができます。

<造形事例>



材質

アルミニウム合金

ステンレス鋼

マルエージング鋼

用途、効果 etc.

- ・LED放熱部品の造形試作
- ・放熱特性評価の検証実験に使用
- ・試作期間、コストを大幅に短縮

- ・格子（ラティス）構造体の造形試作
- ・構造部材の軽量化に貢献

- ・三次元水管金型の造形試作
- ・樹脂製品のひけ、反りを軽減
- ・高冷却効果により生産効率を向上

目次

表紙

金属3Dプリンタによる造形事例……………1
平成28年度の事業計画……………2
新設設備の紹介……………3

特許紹介……………10
研究会・講習会のお知らせ……………11
テクノシンポジウム2016のお知らせ……………12